

農業改良措置の支援内容書

受 理 機 関	
---------	--

1 農業改良資金の借受けの概要

償還期間	据置期間	資金交付 希望日	借り受けようとする事業費及び申請額		
			事業量	事業費	申請額
年	年	月 日		千円	千円

申 請 者 の 概 要	
申請者の氏名又は名称、主たる事業所(場)の所在地、設立時期(個人にあっては事業開始の時期)、事業の概要、資本金の額又は出資の総額、常時使用する従業者数	

2 認定中小企業者、認定中小製造事業者等又は促進事業者による農業改良措置の支援の概要

(1) 農業改良措置を支援するための措置の内容

--

(2) 支援によって改善される農業者の農業経営の概要

区 分	具体的作物家畜名等
<input type="checkbox"/> 新農業部門の経営の開始 <input type="checkbox"/> 新加工事業の経営の開始 <input type="checkbox"/> 農畜産物の生産方式の導入 <input type="checkbox"/> 農畜産物の販売方式の導入 <input type="checkbox"/> 農畜産物の加工品の生産方式の導入 <input type="checkbox"/> 農畜産物の加工品の販売方式の導入	例 変更前 → 変更後 春まき小麦 春まき小麦 プラウ耕起～破土 (プラウ耕起)破土・整 ・整地～施肥・は種 地・施肥・は種 コンビドリルを導入することにより、春まき小麦のは種体系を変更。破土・整地・施肥・は種が1工程で可能となり、労働時間の軽減や適期は種作業を可能とし、コストの削減及び品質の向上が図られる。

※区分欄において該当する選択肢に✓を記すこと。

※農業改良措置(農業経営の改善)の内容が明確になるように記載すること。

(3) 農業改良措置を支援するための販売施設の改良、造成又は取得

実施時期	販売施設等の規模・能力等	事業費	農畜産物等の販売内容
	m ² (台)	千円	

- (注1) 施設の設置は連携又は支援先の農業者等のために行うものとする。
 (注2) 導入施設が複数ある場合は施設ごとに記入すること。
 (注3) 導入施設に関する見積書等、融資機関が指示する書類を添付すること。
 (注4) 当該販売施設の取得等は認定中小企業者又は促進事業者に限る。
 (注5) 実施時期は事業の着工予定年月と竣工予定年月を記入すること。

6 連携又は支援先の農業者等から調達する農畜産物等の調達計画

年度	農畜産物等の種類	農畜産物等の調達総量 A	連携又は支援先の農業者等の氏名	連携又は支援先の農業者等からの調達数量 B	新規又は拡充量 (トン)	調達量の割合 (%) B/A	備考
初年度 (年度)							
2年目 (年度)							
3年目 (年度)							
4年目 (年度)							
5年目 (年度)							
最終年度 (年度)							
連携又は支援する農業者が生産する農畜産物等の引受けに係る契約期間				年 月 日～ 年 月 日			

- (注1) 連携又は支援先の農業者等が複数の場合には、「連携又は支援先の農業者等からの調達数量」及び「新規又は拡充量(トン)」欄には、各連携又は支援先の農業者ごとの数量と全体の数量を記入すること。
 (注2) 農商工等連携事業を契機に、連携先の農業者等が新規に又は拡大して農畜産物等を生産する場合には、認定中小企業者は、その新規に又は

拡大して生産された農畜産物等を全て引き受けることが見込まれること。

(注3) 認定中小企業者が使用する加工施設又は販売施設の取得等を行う場合は、連携又は支援先の農業者等と最低5年以上の契約を締結し、安定的な取引関係を継続することが見込まれること。

(注4) 認定中小企業者又は促進事業者が施設を使用する場合において、連携又は支援先の農業者等からの農畜産物等のみでは商品の生産等を行うことができない場合にあつては、連携又は支援先の農業者等から調達する農畜産物等と同種の農畜産物等を他から調達することもできるが、その際には、この農畜産物等全体の調達量に占める連携又は支援先の農業者等からの当該農畜産物等の調達量の割合はおおむね50%を超えることが見込まれること。

(注5) 添付書類で当該調達計画記載事項が把握可能である場合には、その旨を記載すれば足りる。

(その他の添付書類)

当該認定中小企業者と当該農業者とが安定的な取引関係として、最低5年以上の契約を継続することがわかる規約や契約書等の写し